

【かながわ観光活性化ファンド】
まちづくり会社・株式会社癒し場へに対する投資決定について
～老舗温泉旅館の再生を核とした湯河原町の面的活性化に向けた取組みを加速～

株式会社地域経済活性化支援機構(以下「機構」という。)のファンド運営子会社であるREVICキャピタル株式会社が、横浜キャピタル株式会社と共同運営する「かながわ観光活性化ファンド(以下、「本ファンド」という。))は、3月29日付で、株式会社癒し場へ(以下「癒し場へ」という。)への投資を決定しましたのでお知らせいたします。本件は本ファンドにおける第2号投資案件となります。

湯河原町、湯河原温泉まちづくり協議会、一般社団法人ノオト、株式会社横浜銀行及び機構の五者は、2017年3月29日付で、「湯河原町の歴史的資源を活用した地域活性化に向けた連携協定」(以下、「連携協定」という。)を締結しており、湯河原温泉場では、2018年3月24日に町立湯河原美術館の庭園に面したカフェがオープンし、かつてのメイン通りであった湯元通り地区の石畳化等の街路修景整備(湯河原町が主体となった「街なみ環境整備事業」の一環)が2018年度中に完了予定である等、地域資源を活用した官民連携での魅力づくりが進んでいます。

癒し場へは、かねてから湯河原温泉の活性化に取り組んできた「湯河原温泉まちづくり協議会」が中心となって2017年6月1日に設立されたまちづくり会社であり、地域活性化に向けて空き家の再生や公共施設の活用、地域の魅力発信等を行っています。このたび、同社は、湯河原温泉場の遊休不動産2件の改修工事を行い、2018年8月に飲食店(海鮮料理店及びワインバル)を開業することで、湯河原温泉場に新たな賑わいを作り出すことを目指します。

本ファンドは、2017年3月15日に富士屋旅館合同会社への投資(本ファンドにおける第1号案件)を実行しており、2018年内に、老舗温泉旅館である富士屋旅館のリニューアルオープンが予定されています。癒し場へへの投資は、湯河原温泉場の面的活性化に一層貢献することから、本ファンドは改修工事のための設備資金調達を支援することとしました。

今後も、本ファンドは、不動産整備等のための資金供給と機構の専門人材の活用等を通じて、湯河原町の面的活性化を支援してまいります。

【投資先の概要】

| | |
|-------|--|
| 会社名 | 株式会社癒し場へ |
| 所在地 | 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 |
| 設立年月日 | 2017(平成29)年6月1日 |
| 資本金 | 151万円 |
| 代表取締役 | 山本 一郎 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ● 湯河原の遊休不動産の活用 ● 湯河原の魅力創造に向けた各種コンサルティング及び集客・発信 ● 湯河原の観光施設の管理運営 等 |

【本件投資で改修する物件の現状と改修後の外観イメージ】

1. 海鮮料理店(現土産物店)

<現状>



<改修後>



2. ワインバル(元スマートボール店)

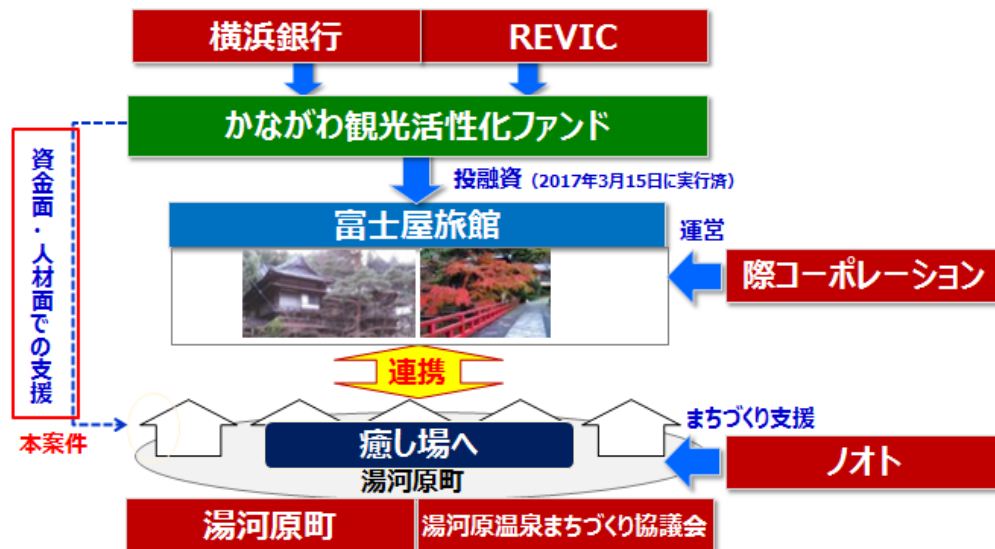
<現状>



<改修後>



【湯河原町の面的活性化に向けた仕組み(イメージ)】



【かながわ観光活性化ファンドの概要】

<http://www.revic.co.jp/business/fund/31.html>

機構ホームページをご参照ください。

以上

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表: TEL 03-6266-0310

地域活性化支援部: TEL 03-6266-0590